

# 平成26年度事業計画書

〔平成26年4月 1日から  
平成27年3月 31日まで〕

当財団は、地下鉄博物館の運営を通じて地下鉄に関する知識の普及を図るほか、交通文化事業及び交通マナー事業を推進し、交通文化の発展に寄与するよう努めております。

本年度も、以下のとおり各公益事業活動に積極的に取り組んでまいります。

また、当財団の本館建物につきましては、耐震化を図るため、昨年度に引続き本年度も建替工事を行います。新本館の竣工は平成27年1月の予定です。

## 1 博物館事業

地下鉄に関する資料等の収集、展示、解説及び案内等を通じて、お客様、特に小・中学生など若い世代の方々に対し、地下鉄に関する知識の普及と理解を深めていただくため、以下の事業を行います。

### (1) 博物館の企画行事

本年度における特別展、イベント等を以下のとおり計画しております。

#### ア 特別展の開催

(ア) 「営団地下鉄から東京メトロまでの軌跡展～東京メトロ10年を経過して～」  
(仮称) (平成26年6月中旬～8月上旬開催予定)

営団地下鉄（正式名称：帝都高速度交通営団）は、昭和16年7月、首都東京の地下に鉄道網を整備することを使命として誕生し、日本で最初の地下鉄である銀座線の運営を引き継ぎ、その後新線建設を重ね、平成16年3月までの63年間に7路線を整備し、銀座線と合わせ8路線の運営を行ってまいりました。

営団地下鉄は、首都東京の地下鉄ネットワークの概成により、その使命が達成され、平成16年4月に株式会社化し、東京メトロ（正式名称：東京地下鉄株式会社）として新しいスタートを切り、平成26年4月には10周年を迎えます。東京メトロは、その間、副都心線を建設し、現在9路線の運営を行っております。

この特別展では、営団地下鉄時代の63年間、また東京メトロとなってからの10年間の歩みにスポットを当て、地下鉄建設の歴史、職員の制服、記念乗車券等の実物展示のほか、写真パネル等により紹介いたします。

(イ)「有楽町線開通40周年展」(仮称)

(平成26年11月中旬～平成27年1月初旬開催予定)

有楽町線は、丸ノ内線の混雑緩和を図るとともに、池袋副都心の育成、さらに皇居周辺の都心部の発展拡大に対応するために建設し、昭和49年10月に池袋～銀座一丁目間が開通しました。その後順次部分開通を重ね、昭和63年6月には和光市～新木場間の全線が開通しました。

有楽町線の建設工事の中で、池袋駅構内の下を横断する工事は、既設路線の運行に支障しないように進める大工事であり、また桜田門～有楽町間は、皇居のお濠の下を通過するため旧江戸城の石垣に変状をきたさないよう細心の配慮をしました。

有楽町線は、最初の開通から平成26年10月には40周年を迎えます。

この特別展では、有楽町線開通40周年にスポットを当て、建設、開通の歴史とともに当時の世相、都心部及び豊洲・新木場地区の沿線開発状況等を写真パネル等で紹介いたします。

(ウ)「銀座線車両の技術変遷展」(仮称)

(平成27年3月中旬～4月下旬開催予定)

日本で最初の地下鉄(現在の銀座線)は、昭和2年12月に開通しました。

その時に導入した1000形車両は、安全性を最優先に設計され、日本初の全鋼製の車体とし、自動ドアや自動列車停止装置など当時の最新技術が採り入れられ、車体の色も当時としては珍しい明るいレモンイエローとしました。

その後導入した車両も同様の設計思想に基づき数々の工夫がなされ、平成24年4月に導入した最新の銀座線1000系車両は、騒音振動を減少させた台車、省電力化したモータ、車内照明にLEDを採用し、さらに昭和2年開通当時の1000形車両を偲ばせるレトロ調な外観に仕上げました。

1000系車両は、これらの点が高く評価され、平成25年5月に鉄道友の会が選定する「ブルーリボン賞」を地下鉄車両として初めて受賞しました。

この特別展では、銀座線の車両にスポットを当て、日本で最初の地下鉄車両である1000形から最新の1000系までの車両技術の変遷を写真パネル等で紹介いたします。

※ブルーリボン賞とは、鉄道友の会(全国規模の鉄道愛好者団体)が、走行性能、快適性を新技術により向上させ、合わせて省エネ性も高め、さらに外観等に

についても高く評価された鉄道車両に贈るもので、昭和33年に制定されました。

#### イ イベントの実施

入館したお子様に楽しんでいただけるよう、各期間において以下のイベントを行います。

- (ア) 春休み、ゴールデン・ウィーク行事（各種ゲーム大会、アニメ映画上映など）
- (イ) 夏休み行事（お盆休みを中心に各種ゲーム大会、アニメ映画上映など）
- (ウ) 鉄道の日行事（HOゲージ模型電車運転会、子供鉄道セミナーなど）
- (エ) 冬休み行事（各種ゲーム大会、アニメ映画上映など）

#### ウ 教育実習活動

博物館実習（学芸員資格取得のための実習）、チャレンジ・ザ・ドリーム（近郊の中学校からの要請による職場体験学習）等の教育実習活動を受け入れます。

#### (2) 地下鉄関連資料の収集、保存、公開及び貸出し

地下鉄に関する各種資料、写真等を継続的に収集、整理、保存するとともに、資料のデータベース化を進めていきます。

さらに、データベース化した貴重な資料を基にホームページに公開している「メトロアーカイブアルバム」の拡充に向け、内容の更新等に努めていきます。また、自治体や学校等から要請があった場合には、所蔵資料などの貸出しもいたします。

#### (3) 展示物の更新及び施設の改良等

地下鉄博物館は、昭和61年7月に開館して以来28年が経過し、展示物・施設の経年劣化が進んでおります。平成28年に開館30周年を迎えるに当たり、今後計画的な改良・修繕工事を行います。本年度実施する主な工事は、以下のとおりです。

- ア メトロパノラマ内の照明器具類の改良（蛍光灯器具類をLED化等）
- イ アンダーグラウンドシアターの改良（3D映像を見る意匠変更）
- ウ 展示物に対する音声ガイダンスの新設（早川徳次氏胸像前）
- エ その他（ドア及び電気錠の改良、非常灯器具類の交換等）

#### (4) 新規商品の開発と販売

入館されたお客様に喜んでいただき、来館記念となるよう博物館オリジナル商品の開発を積極的に行います。

本年度も博物館の管理・運営については、なお一層多くのお客様に来館していただけるよう、ポスターやホームページ、携帯サイトなどの媒体を通じて特別展や各種イベント等を紹介するとともに、テレビ局、新聞社・雑誌社等メディアの取材、インタビューに積極的に対応し、博物館のPR活動を推進いたします。

## 2 交通文化事業

音楽会、文化展、歴史教室等の催しを通じて、多くの方々に、文化的で豊かな日々を提供するため、以下の事業を実施します。

### (1) メトロコンサートの開催

青少年への音楽文化の普及を図る文化活動の一環として、「メトロコンサート」を地下鉄博物館ホールにおいて、昨年度は年3回開催いたしましたが、本年度は年4回開催いたします。

### (2) メトロポリス・クラシックスコンサートの開催

気軽に楽しくクラシック音楽に触れていただくため、「メトロポリス・クラシックスコンサート」を年1回開催いたします。

### (3) 音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）の開催

福祉活動及び音楽文化の振興に寄与するため、「音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）」を都内及び近郊の福祉施設、病院等において、昨年度は年7か所で開催いたしましたが、本年度は年8か所で開催いたします。

### (4) メトロ文化展の開催

絵画、写真及び文学に係る作品を募集して、その中から優秀作品等を選び、以下のとおり「メトロ文化展」を開催いたします。

#### ア 児童絵画の部（メトロ児童絵画展）

地下鉄に興味を持っていただけるよう、小学生を対象に安全やマナーに関する絵画作品を年1回募集し、特選、入選、佳作、奨励の各賞を計600点選考のうえ、「メトロ文化展 児童絵画の部」として駅構内及び地下鉄博物館に展示いたします。

#### イ 写真の部（メトロ写真教室・写真展）

撮影テクニックの習得をはじめ、都内の名所旧跡、下町風情の残る地域などで撮影する喜びを体験していただくため、参加者を募集し、専門家による写真教室及び撮影会を年2回開催し、その撮影作品の中から選考のうえ、「メトロ文化展 写真の部」として駅構内に展示いたします。

#### ウ 文学の部（メトロ文学館）

電車内で、文化的な雰囲気と潤いを感じていただくため、詩の募集を年2回行い、優秀作品を選び、車内ポスターに掲出するとともに、入選作品を「メトロ文化展 文学の部」として駅構内に展示いたします。

#### （5）メトロ歴史教室・歴史散歩の開催

都内に残る名所旧跡など歴史的文物を知っていただくため、参加者を募集し、専門家による解説と現地を探訪する歴史教室・歴史散歩を年2回開催いたします。

#### （6）Echika 池袋ギャラリーの運営

芸術文化の振興に寄与し、また、駅におけるゆとりと潤いのある文化的空間の創造、さらには文化芸術の薫る街を目指す地元地域の発展に資するために設置した「Echika 池袋ギャラリー」の管理運営を行います。展示につきましては、地元豊島区と当財団が行います。

#### （7）パブリックアートの設置・管理

芸術文化の振興に寄与し、人々の心に潤いを与えるため、駅構内に設置した「パブリックアート」の維持管理を行います。

パブリックアートは、現在、副都心線西早稲田駅に2作品、北参道駅に1作品及び有楽町線豊洲駅に1作品の合計3駅4作品を設置しております。

### 3 交通マナー事業

交通マナーの高揚を図り、あわせて地下鉄に対する親しみを深めていただくため、以下の事業を実施します。

#### （1）マナーポスターの制作・掲出

交通マナーの高揚を図るため、交通道德宣伝用マナーポスターを制作し、毎月、駅構内等に掲出いたします。

なお、本年度は過去のマナーポスターの代表作等を展示する「マナーポスター展」を駅構内において開催いたします。

(2) 「地下鉄のはなし」の制作・配付

小学生を対象として、交通マナー、地下鉄の歴史、役割、安全への取組み等を解説した小冊子「地下鉄のはなし」を15万部制作し、地下鉄博物館及び主要駅に常置いたします。

(3) 鉄道教室の開催

交通マナーや地下鉄の知識を深めていただくため、小学生とその保護者を対象に参加者を募集し、施設見学及びセミナー等を行う鉄道教室を年1回開催いたします。

(4) 啓蒙用グッズ類の配付

交通道德宣伝用啓蒙グッズを制作し、各種イベント参加者等に配付いたします。

4 本館建物の建替について

当財団が所有する本館建物は、昭和49年7月に建築し、その後の経年劣化に対応するため、当初平成36年度に建替を行う計画としておりましたが、本建物は、現在の耐震基準を満たしていないことから早期の耐震化につきましても検討してまいりました。

検討の結果、東日本大震災以降、首都直下地震の被害想定等が公表される中、安全上、早期に建替を行うこととし、平成25年8月に既存建物の解体に着手し、解体終了後、平成26年1月から新本館の建築に着手し、平成27年1月の竣工を予定しております。

以 上